

低炭素社会の実現に向けて ストックをどう考えるべきか



国土交通省伊藤明子住宅局長

東京大学松村秀一教授

2017年12月7日(木) 13:00~17:30

会場: 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

参加費: 会議構成団体会員: 2,000円 会員外: 3,000円 学生: 1,000円(資料代含む/当日会場払い)

定員: 200名(申し込み先着順)

申込方法: 日本建築学会Webサイトの「[催し物・公募](#)」より申込み(通信欄に所属団体名を明記)

プログラム

司会 寺尾信子(日本建築家協会)、横尾昇剛(宇都宮大学)

はじめに「低炭素社会推進会議の主旨と4年間の活動」 吉野 博(低炭素社会推進会議議長/東北大学)

1部 低炭素社会推進会議の活動報告

- 1) 低炭素推進会議の参加団体からの報告
- 2) タスクフォースの活動報告
 - ① 都市エネルギー計画検討TF: 小澤一郎(都市づくりパブリックデザインセンター)
 - ② 環境カルテ検討TF: 岩本静男(神奈川大学)
 - ③ 総合改修検討TF: 高井啓明(竹中工務店)
 - ④ 震災復興検討TF: 糸長浩司(日本大学)

2部 挨拶 ストック社会に向けた住宅・建築行政における取組み

伊藤明子(国土交通省住宅局長)

基調講演「つくる」から「つかう」へ 一ストック時代を先導する利用の構想カエ

松村秀一(東京大学)

3部 パネルディスカッション: 低炭素化を進めるストック社会をどうつくるか

- モデレーター: 中村 勉(日本建築士会連合会/ものづくり大学)
- 1) 名古屋市の低炭素モデル地区における建物の更新と公共空間の再整 村山顕人(東京大学)
 - 2) エリアマネジメントによる住宅ストックの維持・向上施策 末次一也(アーバンデザインセンターみその)
 - 3) 街づくりのなかのストック仕組づくり 林新二郎(山万専務取締役)
 - 4) 空き家化に悩む千葉の郊外コミュニティ協働による住宅ストック活用 服部考生(千葉大学/NPOちば地域再生リサーチ)
 - 5) 住宅・建築のストック化への取組み 鈴木大隆(道総研 北方建築総合研究所)
 - 6) 非住宅系ストック改修事例 高井啓明(日建連/竹中工務店)

おわりに 村上公哉(芝浦工業大学)

【申込み】

下記 web よりお申込み下さい。
<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612072>

※シンポジウムの動画配信(有料)も行っております。
<https://www.aij.or.jp/event/list.html?categoryId=2>
(動画配信は当日の開催時間にご覧いただくものです。
会場での聴講、後日の視聴はできません)

【お問い合わせ】

(一社)日本建築学会 担当: 榎本
E-mail: enomoto@aij.or.jp TEL: 03-3456-2051

主催 低炭素社会推進会議

構成団体
(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)建築備技術者協会、(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一社)建築設備総合協会、
(一社)住宅生産団体連合会、(一社)電気設備学会、(一社)都市環境エネルギー協会、(一社)日本サステナブル建築協会、
(一社)日本建設業連合会、(公社)日本建築家協会、(一社)日本建築学会、(一社)日本建築構造技術者協会、
(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一社)日本太陽エネルギー学会、
(公社)日本都市計画学会、(一社)日本木材学会、農村計画学会、日本ヒートアイランド学会、日本環境管理学会、日本環境共生学会